



1年生向け記事

2年生向け記事

3年生向け記事

# 進路通信

# COMPASS

Vol.11 2021年2月号

## 共通テストから現在まで

### 共通テスト

1月16日・17日の2日間にわたって、初めての大学入学共通テストが行われました。民間英語検定試験導入と記述式導入の見送りなど紆余曲折の末に実施されたわけですが、全国的に大きな混乱もなく行われたと言えるでしょう。またこれまでのセンター試験と異なり、試験が2回行われたことも特筆すべきところです。ただし2回目は私大の一般入試直前ということもあり、ほとんどの受験生は第1日程の方で受験していました。問題においては、英語がこの共通テストからリーディング100点、リスニング100点という、これまでの筆記200点、リスニング50点から大きく変更となりました。

本校からは118名の生徒が共通テストに出願しました。1、2年生のために共通テストのスケジュールについて説明しますと、9月中旬に本校でガイダンスを実施し、そこで願書を受け取ります。受験料を振り込むと同時に願書に記入をして指定された日時までに提出します（現役生はすべて学校取り扱いとなり、個別に出願はできません）。その後確認票が送られてくるので訂正があればそこで訂正を行い、12月に受験票を受け取ります。本番に臨んだ後は、センター試験と同様に次の日学校に来て共通テストリサーチを行います。これは複数の業者に自己採点結果と志望校を記入したものを提出し、その動向を知るためのものです。私大の共通テスト利用受験の多くは共通テスト実施前の出願締め切りとなっており、現在その結果が続々と入ってきています。国公立大は共通テストの自己採点結果やリサーチ結果をもとに2次試験に出願することになります。

受験のセオリーとして、「初年度はやや甘め」というものがあります。しかし今回の全体的な動向を見るに、一部の科目を除いてセンター試験の時の平均と大きく変わっていないことがわかります。センター試験も共通テストも「7割以降で勝負」となることは同じですね。

### 私大入試

私大はほぼ入試も終わり、2期入試、3期入試がこれから行われます。「定員の厳格化」となって数年経ちますが、今年はコロナ禍とはいえその傾向はあまり変わっていないようです。しっかりと実力をつけて臨まないと合格が難しいのは当然ですが、入試に民間英語検定試験のスコアを利用できる場合もありますので、1、2年生は今のうちから英検などの検定試験を受験することを視野に入れておきましょう。

### 国公立大入試

国公立大入試は25日から前期日程が行われます。国公立大入試に臨む3年生、頑張ってください。

科目	平均点	前年度平均点
国語	117.5	111.3
数学ⅠA	57.7	65.9
数学ⅡB	59.9	52.5
日本史B	64.3	64.1
世界史B	63.5	61.5
現代社会	58.4	61.8
政治経済	57.0	58.9
物理	62.4	64.1
化学	57.6	56.6
生物	72.6	63.4
英語		122.8
英語(R)	58.8	
英語(L)	56.2	25.2

共通テストとセンター試験の平均点比較  
(主要な科目のみ・大学入試センター発表)

## 大学を知る

今回より「大学を知る」コーナーを始めました。大学関係者へのインタビューを通して、みなさんに大学について知ってもらうコーナーです。第1回は、大正大学の入試課・長野野三子様にインタビューしました。



### ——大正大学とはどのような大学でしょうか。

大正大学は、「文学」「歴史」「福祉」「仏教」を学びの根幹として、1926（大正15）年に創立された全国で唯一の仏教連合大学です。その後「心理学」、近年「表現学」「経済学」「政策学」が加わり、現在の6学部10学科を擁する文系大学となりました。現在、約5000人の学生が東京都豊島区の巣鴨キャンパスで学び、2026年には創立100周年を迎えます。

### ——教育の特色はどのようになっておりますでしょうか。

大正大学の学びは、大きく2つに大別できます。創立時から脈々と引き継がれた「文学」「歴史」「福祉」「心理」などの伝統ある学び。近年加わった「表現学」「経済学」「政策学」は、時代に即した実践的な学びです。本学の建学の理念『智慧と慈悲の実践』を根幹とする人間学と、これからを生きる学生に必要なデータサイエンスやアクティブラーニングなどの学びをベースに、専門分野の学びを深めていきます。

### ——今年度のホットな話題が何かございましたら教えてください。

大正大学の総合学修支援施設「8号館」が2020年9月にオープンしました。1階は日本最大級のラーニングコモンズ、2階から4階は図書館フロアとなっていて、個室で勉強したり、学生同士でディスカッションできるスペースを利用したり、学びに関連する書籍をまんがで楽しめる空間など、自身の状況に合わせて学びを深めることができます。また、ラーニングコモンズフロアには、授業内フォロー、授業時間外の学生の学修にアドバイスをする役割を持つ「チューター」が常駐し、課題指導やさまざまな質問に対応してくれます。



新8号館

### ——どのような学生が多いでしょうか。

真面目な学生が多いです。でも「真面目＝大人しい」というわけではなく、授業の出席や大学からの呼びかけに対し、きちんと対応してくれる学生が多いです。



大正大学

### ——長野様には以前より本校においていただいておりますが、本校の生徒に対してどのような印象をお持ちでしょうか。

進路の相談会に参加すると、学内ですれ違う生徒の皆さんが元気に挨拶をしてくれて、とても気持ちが良い高校だと感じています。高校の先生方の指導の賜物だと思います。

す。また、スポーツが盛んで活発な生徒さんが多く在籍していると思っています。

### —どのような生徒に大正大学に来てほしいとお考えでしょうか。

本学はマンモス大学ではないので、教員や学科の助手・副手が親身になって相談に乗ってくれるなど、学生生活をしっかりサポートをしてくれます。学びを深められる学修環境とサポート体制の両方が整っていますので、興味ある学びをじっくり深めたいという、意欲ある生徒さんをお待ちしています。

### —ほかに最近だとどのような話題があたりでしょうか。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの大学が対面授業をオンライン授業にシフトしました。本学も春学期はオンラインのみで授業を実施していましたが、秋学期からは各学年のゼミ形式の授業（大正大学は1年次から展開しています）等で対面授業をスタートしています。さらに、2021年度は対面授業を再開予定です。（※社会情勢により変更の可能性あります）

### —最後にひと言をお願いします。

巣鴨のワンキャンパスで過ごす4年間、リアルな大学生活を満喫しに来てください。お待ちしております！



## 受験はすでに始まっている

2年生のみなさん、「まだ2年生だから……」と思いませんか？ そんなあなたはもう出遅れていると言ってもいいかもしれません。2年生の3学期は3年生の0学期と言ってもいいくらいで、すでに受験に向けてスイッチが入っていなければなりません。3年生の受験の動向がすべて明らかになってからようやく重たい腰を上げているようではあまりにも遅すぎます。

この時期、とにかく自分の志望を定め、それに向かって何が必要かを明らかにして受験勉強の大きな方向性を定めておかなければなりません。まだ何も手をつけていないと言う人がいたら、少し焦りましょう。焦って情報収集から始めましょう。あなたがライバルだと思っている人は受験に向けてとっくにスタートを切っているはずです。

「やる気」のスイッチは、結局自分で入れるしかないのです。誰かにスイッチを入れてもらおうなどとは思っていませんよね……。



## こんな生徒・受験生どうですか？

ネットを見ていたら、ふとこんな記事が目にとまりました。「『どうして単語を覚えてこなかったの』予備校生の答えに絶句…」です。詳しいことは記事をご覧くださいのですが、英語専門の予備校を経営する先生の言葉は、そっくりそのまま皆さんにも参考になるものばかりです。

記事では「お膳立てされるのが当然と思う受験生」「効率重視の受験生」「うまくいかない責任転嫁する受験生」の姿が赤裸々に述べられています。この姿は、実は私た



ちもよく見ている姿でもあります。

私たちが時々「とりあえず何をやっておけばいいですか？」とか「〇〇に受かるには最低何をやっておけばいいですか」というような質問をされることがあります。私個人に関していえば、「うん、全部だね」と言いますが、その時の反応は決まって「失望」です。記事の中では「合格ラインが60点なら、61点取ればいい」という考えの人は、決まって「受験勉強など将来役に立たない」という言い方をすると述べています。私の答えに失望する人は、きっとこのような効率重視の人なのでしょう。



毎日の生活の中で学ぶことはたくさんあります。たとえそれが受験参考書には載っていないようなことであっても、ふとした時に思わぬ副産物をもたらしてくれることがあります。それを大事にするか無駄にするか、それは皆さん次第なのではありませんか？

## トピックス

- 2月13日夜に福島県沖を震源とする強い地震が発生しましたが、その影響で東北新幹線がストップし、受験生の足に大きな影響が出ました。早稲田大学は東北6県の受験生に対し当日の無理な来校を求めず、共通テストの結果で判定すると発表しました。これがどのような影響を及ぼすのか現時点ではわかりませんが、受験の時は何が起るかわかりません。そもそも共通テストすら受けていなかったならば、受験会場に行けない場合は判定すらしてもらえないということになります。どんな場合にでもいえることですが、「備え」というものは必要であることを痛感させられます。
- 大学入試の合否は、近年はWebで発表されることがほとんどですが、実際に大学の構内でも合格者の受験番号が発表されています。しかし今年はコロナ禍の影響で大学構内での発表をしないケースがほとんどです。実際に大学に合否を見に行っている受験生がどのくらいいるのかは定かではありませんが、コロナ禍の影響はそういうところにも及んでいます。
- 少し気が早いですが、現高校1、2年生を対象としたオープンキャンパスも、今のところオンラインで行うことを発表している大学がちらほら出てきました。今後の状況次第で変更されることも考えられますが、早いところだと3月から次年度入試に向けてのオープンキャンパスが開催されます。通常だと大学で実施するわけですが、このコロナ禍にあって当面はオンラインでの開催を余儀なくされるようです。何はともあれ、情報収集を始めるのは早い方がいいですね。



このコロナ禍にあって、「コロナ後」のことを予想する記事をちらほら見かけるようになりました。少し気が早いような気がしますが、気になるものがあつたのでご紹介します。コロナの後、世界的に経済は打撃を受けることは間違いない（すでに打撃を受けていますが）のですが、文化においては新しい文化形態が登場するのではないかと予想する社会学者がいました。スペインなどのヨーロッパでは夕方の一時間、医療従事者への感謝の気持ちを込めて拍手をしたり窓から外に向かって歌ったりするということが行われていますが、経済に縛られない自発的な表現というものが盛んになって、それが新しい文化を生み出すのではないかといいことなんです。そう考えると、今まではいかに経済主導で文化が存在していたかということになり、ちょっと興味深いです。私はそういう意見を聞くについつい日本ではどうなのだろうと思ってしまいます。日本ではYouTubeなどの動画サイトの視聴率は上がっているようですが、自発的な表現というものについてはどうなのでしょう。同じことをすればいいとは言いませんが、ちょっと遅れを取っているような気がしないでもありません。コロナ後の日本の文化は、果たしてどのような新しいものになっていくのでしょうか。そこに新しいものはあるのでしょうか。